

Property general

座長:小川由布子(土木),清原千鶴(建築)

Thu. Jun 27, 2024 10:50 AM - 12:15 PM Room 4 (第3・4会議室)

[1060]Evaluation of Impact Resistance, Static Load Resistance and Chemical-Substance Emission for Large Floor Tiling Method Using Bed of Cold Hardening Asphalt

Yosuke Ito¹, Kenichi Yamasaki², Shinji Kawabe¹, Izumi Hayashi¹ (1.名古屋工業大学 2.テックタイリング)

Keywords:大形床タイル、常温アスファルト、下地、浮き、温水浸せき処理、VOC、三点比較式臭袋法

床タイルのひび割れを軽減するため、常温アスファルト合材(以下、常温 ASとする)を下地とした大形床タイル張り工法の研究が行われている。そこでタイル寸法と温水浸せき処理が耐衝撃性・耐静荷重性に与える影響と、常温 ASの放散物質と量とにのべの評価を行った。本研究の結果、600mm角の供試体では300mm角の供試体と同等以上の耐衝撃性・耐静荷重性を持ち、温水浸せき処理をした常温 AS下地と浮きを有するモルタル下地は、同程度の耐静荷重性を持つことを確認した。放散物質と量の評価では、アルデヒド類の放散量が多く低減方法の検討が必要であると確認した。放散量が多いアルデヒド類を低減することでのべの不快を緩和できる可能性がある。